

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		物理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年	学期及び曜時間	前期	教室名	301
担 当 教 員		荒木将平	実務経験とその関連資格	理学療法士として回復期病院、介護老人保健施設に勤務経験あり。臨床実習指導者の経験もある。		
《授業科目における学習内容》						
理学療法士に必要な人体の運動における物理的作用とその影響を学び、計算によって求めることの出来る身体的反応などを学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
出席・課題の提出・筆記試験で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料 標準理学療法学・作業療法学[専門基礎分野]運動学 第2版						
《授業外における学習方法》						
事前に指定テキストを読んでおく。授業後確認作業をしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
各回の授業は連続性があるため、毎回確実に理解し、次週に備えること。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	物理の基本的な部分を知る	テキスト 配付資料	テキストの該当部分を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	物理学総論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	モーメント	テキスト 配布資料(事前の配布資料も含む)	テキストの該当部分を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	回転運動・平衡条件など			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体とてこ	テキスト 配布資料(事前の配布資料も含む)	テキストの該当部分を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	第1-3のてこの原理、対応する関節について知り、計算が出来る			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体とてこ	テキスト 配布資料(事前の配布資料も含む)	テキストの該当部分を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	第1-3のてこの原理、対応する関節について知り、計算が出来る			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎代謝と消費エネルギー	テキスト 配布資料(事前の配布資料も含む)	テキストの該当部分を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	基礎代謝計算・カロリー計算ができる			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	有酸素運動とエネルギー	テキスト 配布資料(事前の配布資料も含む)	テキストの該当部分を読 んでおく
		各コマにおける授業予定	目標心拍数・運動強度の計算が出来る		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	テキスト 配布資料(事前の配布資料も含む)	テキストの該当部分を読 んでおく
		各コマにおける授業予定	授業で行った計算について復習し再学習する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標		テキスト 配布資料(事前の配布資料も含む)	テキストの該当部分を読 んでおく
		各コマにおける授業予定			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			